

あせみかわかせいかすいしんいんかい

汗見川活性化推進委員会

～地域の拠点清流館で継続する地域づくり！～



平成20年5月から旧小学校を宿泊施設として運営



汗見川に大勢の人が集まる川遊びイベント

経緯

- 昭和47年に、地域を流れる汗見川を美しくする会を結成し、次世代につなぐ景観づくり、人づくりを実施。
- 平成13年より、過疎・高齢化や鳥獣被害が進む中、地域住民が地域の継続と活性化を目指した交流事業や景観活動を開始。

取組内容

- 植栽伐採による河川沿いの景観整備やツツツアー、地域運動会などを実施。
- 廃校活用の体験宿泊施設「汗見川ふれあいの郷清流館」でのソバ打ち、ピザ焼きなどの農林業体験、都市農村交流、景観づくり活動などを実施。
- 移住者、地域の女性等によるシソを活用したアイス、ドリンクの商品化。

活動の効果

- 地域拠点の「清流館」は、高知県で集落活動センターの第1号として開設、6集落の連携や次世代リーダーの育成に結びついている。
- 新たな特産品の開発、その開発を担う女性グループの発足、農山村体験指導者の育成等により担い手が増加し、活動が活性化した。
- 高校・大学との連携、地域外団体との協働により魅力ある地域づくりが推進。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域では、清流館を拠点に都市農村交流・商品化の推進で地域ビジネスづくりを進めるとともに、健康講座・運動会など地域でのコミュニティ活動で流域住民参加による地域の総合力を推進し、取組が継続する地域を目指しています。